

白子川とカワセミ散歩(下)

新居和夫



カワセミは美しいばかりでなくかなり獐猛で、その餌を料理している姿(瞬目時は特に)は、恐ろしいばかりです。カワセミの餌は、白子川ではザリガニ、アブラハヤ、ドジョウ、小エビ等のようです。場所(食糧事情)によってはトンボも餌になるようです。一時絶滅が危惧さ



れていたこともあるようですが、水がきれいになり、魚やエビが豊かに暮らせる川や沼が増えるにつれ、カワセミも東京のあちこちの川辺でも見られるようになったようです。

最近井頭では湧き水が涸れている時期も長いので、カワセミにとっては、そのような状況はよろしくないことは確かです。今年(2017年時)は雨量も多く井頭公園にも水量がある程度あり、小エビ、ザリガニ等がいるので、早朝や夕方人が比較的少ない時には、飛来しているようです。

カワセミにはテリトリーがあり、井頭から西武線付近までは1羽の雄が支配している様子です。時々この縄張りに別の個体(今年生まれた子でも)が侵入してくると、追いかけて追い出します。中流域・下流域にもそれぞれ主が居り、時々縄張り争いをしている姿が見られます。

今年は1番子から3番子まで井頭近辺で誕生した様子で、6月ころ

は子供3羽仲良く水に飛び込んで遊んでいることもありました。火の橋付近には、この主の雄カワセミがよく止まって、飛び込んでザリガニ等をとっている姿が見られます。

白子川を通して、凶らずもカワセミのみならず、様々な生き物や自然の豊かな営みを目にし、美しいばかりでなく、残酷でもある小さな世界を気ままに散策することは本当に興味深く楽しいものです。仕事に追われ、余裕もなかった私にとってカワセミは、文字通り「青い鳥」なのかも知れません。(おわり)